発　行：ひたちなか市の環境を良くする会
会長　小　川　和　昭
編　集：広報委員会
監　修：ひたちなか市環境政策課
ＴＥＬ：029-273-0111（内 3312）

環境かわら版

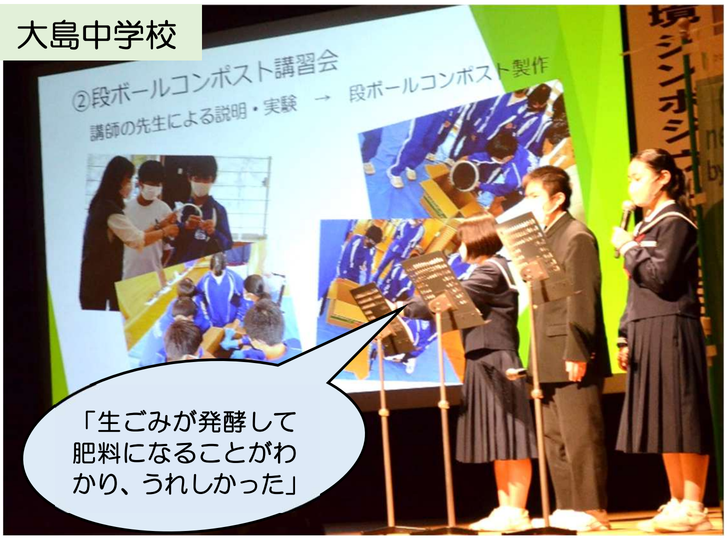
ひたちなか市 環境シンポジウム 2023
令和４年度 環境保全啓発ポスターコンクール表彰式

２月１１日(土) ひたちなか市文化会館で『環境シンポジウム 2023』が開催されました。ポスターコンクール受賞者表彰式の後、環境活動を実践している学校や事業所等、５つの環境活動の発表が行われました。

外野小学校

外野小学校は、「みんなだいすき ひたちなか もっとだいすき ひたちなか」と題した、学校をあげての牛乳パックの回収や米作りを通して知った自然の大切さなどSDGｓを意識した活動について発表

大島中学校

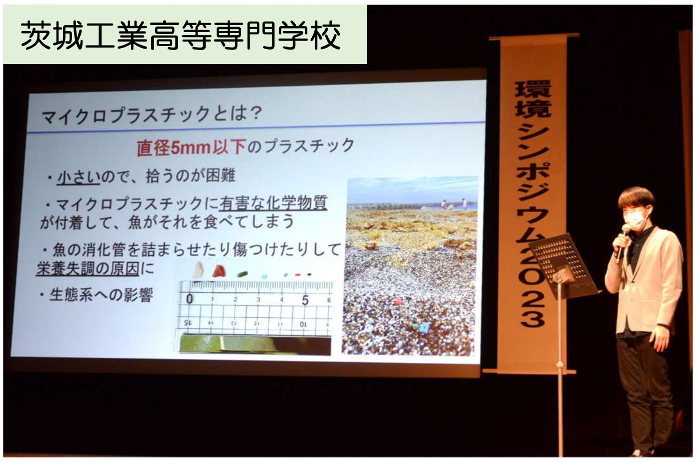


大島中学校は、林業体験で学んだ森林保護、麦ストローによる脱プラスチックへの取り組み、本会が講習会を実施した段ボールコンポストの実践について発表

美乃浜学園

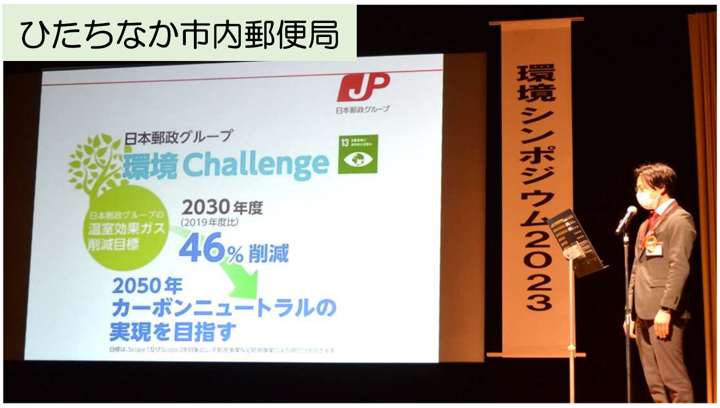
美乃浜学園は、阿字ヶ浦中から引き継がれている沢田湧水地の研究、スカシユリの復元活動について発表「いばらき生物の会」や「ひたち海浜公園パートナーズ」との協働により活動の幅が広がっている

茨城工業高等専門学校



茨城高専は、ほしいも加工残渣の悪臭抑制方法の検討と原因物質の化学分析、マイクロプラスチック問題解決のための活動とその影響についての研究発表

ひたちなか市内郵便局



市内郵便局は、再配達削減に向けて置き配バッグ利用による CO_2 削減プロジェクトについて発表

環境シンポジウムに参加して、小学生から大人までその年代にできること、気づく取り組みがあることを知りました。何よりも、楽しく多くの人と一緒に活動できることが素晴らしいと思いました。

「カーボンニュートラル」目指して　3年目

令和2年10月、国は2050年までに「カーボンニュートラル」（脱炭素）を目指すことを宣言しました。この課題は政府、業界のみならず、本会でも最も大きな課題の一つであり、定期的に勉強会を開いています。本号ではこの問題を取り上げ、本会の取組みについて紹介します。

Q:カーボンニュートラル（炭素中立）って何ですか？

A:CO_2排出量から森林などのCO_2吸収量を差し引いた正味の排出量をゼロにするということ。

　国連環境計画によると、今世紀中に世界の平均気温が産業革命前より2.8℃も上がると言われています。すでに上昇幅は1.2℃に達し、「気温上昇をできれば1.5℃に抑える」というパリ協定の努力目標を間もなく超えてしまう勢いです。

　現在、120カ国以上の国が「温室効果ガスを2050年までに排出を実質ゼロにする」と宣言しています。

Q:国としてどんな対策を？

A:各国はすでにCO_2の削減目標を引き上げて、多額の予算をグリーン復興に充てています。

　日本でも、GX・グリーントランスフォーメーション（グリーンへの転換）の実現に向けた基本方針を打ち出し、新たな技術開発などで脱炭素と経済成長の両立を目指しています。未来の脱炭素社会の一例を左上に示します。

脱炭素社会が実現した未来の一例

産業 農業の自動化・電動化、エネルギー多消費産業の再エネ供給地への集積

交通 乗用車はEV、バス・トラックは燃料電池車、飛行機はバイオジェット、都市はカーシェアと公共交通網、地方はデマンド型交通

家 ネットワークによる省エネ・高断熱化、ZEHが基本、非常時はEV車などの蓄電池から調達

※ZEH(創るエネルギーが使うエネルギーと同じ、または上回る住宅)

出典:国立環境研究所、三菱総合研究所

「カーボンニュートラル」を目指して取り組みませんか

Q:消費者の私たちは何をすべきですか？

A:**CO_2の排出量の6割以上が生活と関わっており、一人ひとりが環境に配慮する意義は非常に大きいと考えます。**再エネやEVの利用のほかにも、できることは沢山あります。

　そこで、本会温暖化防止分科会のメンバーが取り組んでいる節電・省エネを右下のイラストや下の項目で紹介します。

①食べ残しはせず、生ごみは段ボールコンポストで肥料として活用する。②雨水やふろ水の利・活用を図る。③合成洗剤は使わず、石けんに代える。④プラスチックなどは植物由来の木・竹材に置き換える。⑤容器類は再生可能な金属やガラスに代える。などです。

　そのほか、夏場には「緑のカーテンでエコチャレンジ」や、県の「クールアースいばらき」の事業と共同で、暮らしの「省エネ対策」を目的に「うちエコ診断」の受診を実施しています。皆さんも参加してみませんか。

ストップ温暖化（脱炭素生活）の例

わがまちの環境活動

廃油エコキャンドル工作教室

2月12日（日）中根集落センターにて中根小学校の上区東子ども会の親子・先生合わせて20名が、当会の温暖化防止分科会会長の斎藤保夫さんを講師に招き、表題の環境工作教室を開きました。

　家庭の食用廃油をみんなで持ち寄り、鍋でお湯を沸かし、そこでやけどに注意しながら、廃油・凝固剤・ローソクを容器に入れて溶かす。次に溶けた廃油を、ろうそくの芯にするヒモと、クレヨンの削り屑や香料を入れたガラス瓶に移し、固まるのを待って完成です。保護者・先生の協力の下、キャンドルが完成すると、皆さん手をたたいて喜びました。

　固まるまでの30分の間、「ペットボトルでの雲づくり」と「静電気ストローによるボート動かし」を体験しました。子どもたちはその不思議さにびっくりしていました。

（写真は溶けたロウを移す様子）

大島中学校2年生

「段ボールコンポスト講習会」経過報告

　昨年、大島中学校から依頼を受け2年生の環境学習の一環として段ボールコンポスト講習会を実施しました。2月14日に段ボールコンポストのその後の様子について取材してきました。各クラス3箱作成したコンポストに担当の生徒たちが中心となり、ご飯、パンを中心とした給食の残菜を入れてきたとのことです。当初、面倒だなと思った生徒たちも白カビが生えホカホカしてきたことで、愛着がわき楽しんで取り組んできたそうです。学年末を迎え、今後はできた堆肥を学校の花壇に肥料として使うだけでなく、給食の野菜を育てている農家に引き取ってもらうことも考えているそうで、実現すればより素晴らしい取り組みに発展することでしょう。また、講習会でフードロスを呼びかけたことで2年生の給食の残菜が減っていると伺い嬉しく思いました。

教室の廊下に保管して管理をしています

微生物が残菜を分解しています

　環境シンポジウムで発表された生徒たちの感想を紹介します。

・メリットも多いので多くの人にやってもらいたいと思います。
・次の日に白カビが出て発酵しているのが分かりました。
・生ごみが無くなっているのを見て、すごくやりがいを感じました。
・生ごみの処理がすぐ近くででき、ごみ出しの手間が省ける。生ごみが肥料になるなど、本当にエコな活動だなと思いました。
・最初はマイナス面ばかり考えていましたが、続けることにやりがいを感じ、積極的に参加するようになりました。
・実際やってみると臭いも少なく、休むこともでき簡単でした。継続していきたいです。
・生ごみの有効活用ができ、減っているのが目に見えるのも嬉しくなりました。

　生徒たちがそれぞれに気づいた視点からコンポストの容器の種類、廃棄にかかるコストなど発展的に学習を広げた内容が、レポートにまとめられ廊下に掲示されていました。

"詳しくは市のHPをご覧ください"

総会開催予定

日時　4月22日（土）午前10時～
会場　ふぁみりこらぼ304研修室

クリーンウォーキング予定

日付　6月11日（日）
場所　那珂湊漁村センターから平磯海岸クジラの大ちゃん間
内容　親子でウォーキングしながらごみを拾い海洋プラスチック問題を考えます。

本会の活動はブログでご覧いただけます。
https://ameblo.jp/hitachinaka-kankyou/

自然環境保全活動

森林保全活動

広がる間伐竹の利用法

本会は美田多町風致地区の竹林の保全活動を長年行っています。間伐竹を焼却するのではなく、竹の魅力を生かした活用方法を見出そうとする会員の活動をご紹介します。

ぶんぶんゴマ作り

２月１５日(水)那珂湊第一小５年生４４名が参加し竹細工教室で“ぶんぶんゴマ作り”を開催しました。

慎重にキリで穴をあけます

「バリって何ですか？」「ハンドルどうやって結ぶんですか？」子どもたちはぶんぶんゴマ作りに意欲的に取り組んでいました。できたコマを回してそれぞれの出来ばえを見せあい、笑顔あふれる工作教室となりました。

竹チップに加工

本会では間伐竹の竹チップ・竹粉の利用法を検討しています。

竹のスマホスタンド

好評の竹箸

間伐竹の花器

９月、１２月に間伐竹利用の花器工作教室を開きました。

間伐竹の花器工作教室

那珂湊漁港のごみ除去活動

２月２４日（金）那珂湊漁港堤防周辺のごみ拾い活動を行いました。今回はマルハニチロシーフーズ(株)、和田町自治会のご協力もいただき１１名の参加を得て、燃やせるごみ２０袋、燃やせないごみ７袋、タイヤやこたつなどの粗大ごみ、海洋汚染につながるプラスチックごみなど総計 73 kgを集めました。

昨年、１０月には工機ホールディングス(株)の方々にご参加いただきました。この活動のネットワークは回を重ねるごとに拡がっています。

休耕地の有効活用

今年度のそばの実の収穫は 98 kgと豊作でした。カボチャ、ジャガイモなども収穫しました。３月２５日ふぁみりこらぼにて３年ぶりにそば打ち・試食会を開催予定。

～～～～～～～～～～～　ひたちなか市の環境を良くする会　事業所会員の紹介　～～～～～～～～～～～

はなのわ幼稚園 Hananowa kindergarten	ひたちなか・東海 ハイトラスト株式会社 ひたちなか市新光町 103−2 ＴＥＬ（029）265-5371	マルハニチロシーフーズ株式会社 ひたちなか市和田町3丁目13400番地2	廃棄物の中間処理施設 KATSUTA 株式会社カツタ ひたちなか市高野1968−2 ℡(029)270−3711(代) http://www.eco-katsuta.com/	Bio Power 木質バイオマス発電所 （株）バイオパワー勝田 ひたちなか市高野 1974−1 TEL029−270−3341	KOMATSU コマツ 茨城工場 ひたちなか市長砂 163-46 http://www.komatsu.co.jp/
社会福祉法人 新世会 いくり苑	リコーインダストリー（株） 勝田事業所 インクジェットヘッド ドットラインプリンタ ひたちなか市武田1060 www.industry.ricoh.co.jp	ガーデン・エクステリアのデザイン・施工 Maki planning http://www.mams-garden.com/ プロが選ぶガーデン雑貨の専門店 Mam's garden http://www.makipla.com/	人と自然への思いやりを大切に 勝田環境 KATSUTA KANKYO	HiKOKI 工機ホールディングス(株)	私たちは、 美しい地球を次の世代へ！ のスローガンのもとに、一丸となって地球環境の継続的改善と環境汚染予防活動を推進しています。 ㈱日立製作所水戸事業所